

第5章

産業・経済

資源・特性を活かし 産業の活性化やにぎわいの創出を進めます

第5章 第1節

農業

農とのふれあいと継続していくための農業振興を図ります

511 生産基盤の整備を進めます

512 経営基盤の強化を図ります

513 農とのふれあいを推進します

第5章 第2節

商業

活き活きとしたにぎわいにあふれた魅力ある商店街づくりを推進します

521 魅力ある商業の振興を図ります

522 経営基盤の強化を図ります

523 環境の整備に努めます

第5章 第3節

工業

所沢の活力を牽引・創造する工業の振興を進めます

531 生産基盤の整備を図ります

532 経営の向上を支援します

533 地場産業の育成を支援します

第5章 第4節

観光

地域資源を見直し 情報発信の充実により「観光地」所沢づくりを進めます

541 観光活動の充実を図ります

542 観光基盤の整備を推進します

第5章 第5節

労働・雇用環境

働きやすい労働環境の確保や発展的な雇用促進を進めます

551 雇用対策を推進します

552 勤労者福祉の推進を図ります

553 労働環境の向上をめざします

今後、4年間に重点的に取り組む事業

※事業費は4年間の概算予算額で、財政状況等により変動する場合があります。

事業名	事業概要	事業費
地産地消推進事業 (農政課) 第1節「農業」 ④「環境に配慮したまちづくり」 ④「所沢ブランドの創造と地域経済の活性化」	所沢市内で生産された新鮮で安心・安全な地場産農畜産物を、各種品評会やオリジナルシールや直売所マップなどによるイメージアップ及び農産物直売所や量販店の直売コーナーを通じてPRを行い、農業者と消費者を結びつけて、消費拡大を目的として事業を推進します。 事業期間 平成 15(2003)年度～(継続事業)	百万円 20
魅力ある商店街創出支援事業 (商工労政課) 第2節「商業」	地域経済の要であり、地域コミュニティの中心でもある商店街が行う共同施設(街路灯等)の新設・改修や共同事業(イベント等)の実施に対し、補助金を支出し、商店街の振興とにぎわいづくりを支援します。 また、空き店舗の状況を把握し、その活用を図ることによって、活力ある商店街づくりをめざします。 事業期間 昭和 57(1982)年度～(継続事業)	百万円 188

※④：関連する「総合的に取り組む重点課題」を示しています。

分野別の主な計画

計画名	計画概要	ページ
所沢農業振興地域整備計画 (農政課)	農業の発展のため、その基本となる地域の農業生産環境全般にわたっての整備を進め、魅力ある都市近郊農業の確立を目標とする計画です。 計画期間 平成 10(1998)年度～	P106～107 第1節「農業」
所沢市中心市街地活性化基本計画 (商工労政課)	中心市街地の都市基盤整備と商業等の活性化の一体的な推進が図れるよう各種施策を連携させながら、魅力と活力ある中心市街地の再生を図るための計画です。 計画期間 平成 15(2003)年度～	P108～109 第2節「商業」

第5章-産業・経済

第1節

農業

～ 農とのふれあいと継続していくための農業振興を図ります ～

◆◆◆ 現況

国においては、平成22(2010)年3月に食料・農業・農村基本計画が見直され、戸別所得補償制度の導入、消費者が求める「品質」と「食の安心・安全」といったニーズにかなった生産体制への転換、6次産業化*による活力ある農山村地域の再生を基本に、「食」と「地域」の早急な再生を図っていくものとしています。

本市の農業は、首都近郊という有利な立地条件のもとで意欲のある農業者により、さといもに代表される露地野菜、狭山茶を中心に、県内有数の農業産出額を維持しています。しかし、農業従事者の高齢化や農業後継者の不足、遊休農地*の増加や作付けの減少、さらに輸入農産物の増加や産地間競争に伴う価格低迷による農業経営の圧迫など、農業を取り巻く環境は年々、厳しくなっています。

◆◆◆ これまでの主な取り組み

- 優良農地*を保全し、遊休農地とならないための関係機関との連携
- 農薬や化学肥料の使用量の削減や、農業用資材の適正処理などに取り組み、環境にやさしい農業を推進
- 後継者の育成や担い手の確保・育成のため、認定農業者制度の普及をはじめ、若手農業者や農業ポ

- ランティアの活動支援
- 地元農業への理解を深めるため、地場産農産物の学校給食への利用やさまざまな催しなどの機会を捉えての地産地消*事業の推進
- 休耕地を活用したお花畑、体験農場などの農業体験を通じて、農業者と市民との相互理解や交流の機会拡充

◆◆◆ 課題の整理

- 基盤整備による優良農地の保全と活用を推進すること。
- 生産安定施設や農業機械の充実を図ること。
- 優良農地の利用集約化を図ること。
- 減農薬などの安全と環境に配慮した農業を推進すること。
- 遊休農地*の利用を推進すること。
- 後継者や担い手の育成・確保と女性の農業経営

- 参画を推進すること。
- 農業以外からの新規就農や補助労働力を確保すること。
- 地産地消*による消費拡大を推進すること。
- 家畜伝染病の発生予防と周辺環境対策を推進すること。
- 都市近郊農業への理解を積極的にPRすること。

■ 主な農作物の種類別収穫量
(出典：埼玉農林水産統計年報
(平成18年～平成19年))

ほうれん草
収穫量 3,260 t
県内順位 3位



にんじん
収穫量 3,383 t
県内順位 3位



さといも
収穫量 4,060 t
県内順位 1位



だいこん
収穫量 838 t
県内順位 4位



狭山茶
収穫量 3,383 t
県内順位 2位

*6次産業化…農林水産物と地域資源を有効に活用し、1次、2次、3次産業の融合を図る取り組み。
 *優良農地…農業生産性の高い農地、集团的に存在している農地、農業基盤等の整備を行ったことにより生産性が向上した農地。
 *遊休農地…農地であって、現に耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地等で、農地法に定義された法令用語。
 *地産地消…その地域で作られた農畜産物・水産物を、その地域で消費すること。また、その考え方や運動。

◆◆◆ 基本方針

511 生産基盤の整備を進めます

基盤整備により生産性の向上や、優良農地の保全に取り組み、遊休農地の利用を図るため「所沢市農地サポート事業」による農地の流動化を進めます。家畜排せつ物や落葉などの有機物質資源を活用した、循環型農業を進めます。また、安心して安全な農産物を供給するため、農薬や化学肥料を低減し、環境に配慮した持続性の高い農業を進めます。

《主な取り組み》

- ・生産基盤の整備の推進
- ・遊休農地解消の促進
- ・総合的な土づくりの推進
- ・環境にやさしい農業の推進
- ・家畜伝染病の発生予防と周辺環境対策の推進
- ・新しい特産品の創出の支援

512 経営基盤の強化を図ります

農業後継者や担い手の育成のほか、援農ボランティアなどの農業以外からの補助的労働力の確保や、新規就農者を支援します。経営感覚を取入れた農業者を育成し、女性や後継者の農業経営への参画を図り、「家族経営協定」の締結を支援します。地場産農産物の生産拡大と安定的な供給体制の整備を進めます。農業者年金制度を活用し、農業者の老後生活の安定的な福祉の向上をめざします。

《主な取り組み》

- ・農業後継者や担い手の確保・育成の推進
- ・認定農業者制度の普及
- ・生産出荷体制の整備
- ・農業者年金の維持促進

■農産直売所ガイドマップ

■さとも・狭山茶の引換券
※市からご結婚のお祝いとしてプレゼントしています



513 農とのふれあいを推進します

地場産農産物の積極的な学校給食での利用や農産物直売所を通じての普及活動によって消費拡大を進めます。体験農場、農作物収穫体験などを通じ、農業者と消費者である市民との交流、相互理解を図ります。各種パンフレット、農産物直売所マップやイベントを通じ、所沢市の農業を積極的にPRします。

《主な取り組み》

- ・地産地消活動の推進
- ・地域住民との交流活動の推進
- ・積極的な所沢市の農業の情報発信

◆◆◆ 計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年度別目標値				
			H21	H23	H24	H25	H26
認定農業者数	人	H21	H23	H24	H25	H26	
		193	210	215	220	225	

説明：農業振興策の取り組み状況を示す指標です。

現状値は、意欲と能力のあるプロの農業者として認定される、平成21年度の「認定農業者数」です。

目標値は、毎年5人増加をめざすものです。

指標名	単位	現状値	年度別目標値				
			H21	H23	H24	H25	H26
認定農業者の経営面積割合	%	H21	H23	H24	H25	H26	
		35	39	40	41	42	

説明：農業振興策の取り組み状況を示す指標です。

現状値は、市内の農地の内、平成21年度の認定農業者の耕作面積の割合です。

目標値は、毎年1ポイントの増加をめざすものです。

第5章-産業・経済

第2節

商業

～生き活きとしたにぎわいにあふれた

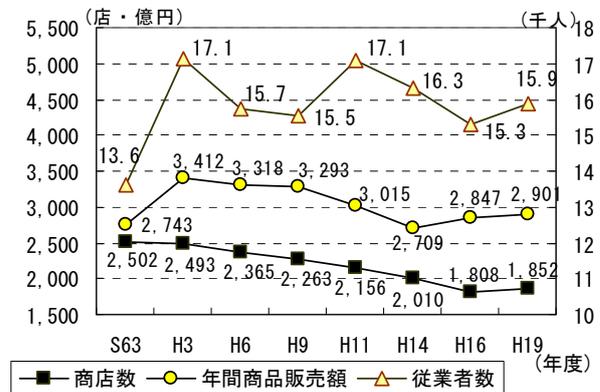
魅力ある商店街づくりを推進します～

◆◆◆ 現況

近年、商店街を取り巻く環境は、景気の低迷や経営者の高齢化、後継者不足、郊外型大型店の出店、さらには、消費者ニーズの多様化や消費者のライフスタイル*の変化など大きく変化しています。これに伴い、商店街を支えてきた小売店数は減少し、全国的に商店街組織の活力が低下しています。

本市における商店街も例外ではなく、同様の問題を抱えています。加えて、所沢駅近接の大型商業施設の撤退や近隣市での郊外型大型店の出店などの影響により、本市の集客力が減退し、商店街にとって厳しい経営状況が続いています。

■ 所沢市の小売業の推移



(資料：商業統計調査)

◆◆◆ これまでの主な取り組み

- 所沢商工会議所をはじめとした関係機関との協力による所沢駅周辺の商業集積の維持
- 消費者ニーズを的確に捉えた魅力ある商店街づくりの支援等による市のイメージアップと経済の活性化
- 商店街を元気にするための所沢市商業振興条例の制定と商店街支援事業の実施
- 所沢商工会議所と共同事業で進める中心市街地活性化拠点施設を移転し、元町に「野老澤町造商店（ところさわまちづくりしょうてん）」をオープン
- 中心市街地への来街者のための市営元町地下駐車場の整備

■ 中心市街地活性化拠点施設「野老澤町造商店」のイベント



◆◆◆ 課題の整理

- 市全体のイメージアップを図ること。
- 魅力ある商店街づくりの推進に努めること。
- 商店街の組織強化を図ること。
- 新たな商業経営者の育成に努めること。
- 商店街にある駐車場などの商業基盤の整備を図ること。
- 空き店舗の活用を図ること。

■ 多くの人でにぎわうハナミズキ通りのイベント



*ライフスタイル…衣食住だけでなく、趣味や娯楽なども含む広い意味での暮らしのあり様をさす。生活そのものの考え方、生活習慣、個人の主義や信条なども表すことがある。

◆◆◆ 基本方針

521 魅力ある商業の振興を図ります

市や商工会議所、商店街などのホームページの充実、商店街イベント等を通じて所沢の商業の魅力を広くアピールします。

中心市街地の活性化を図るため、活性化拠点施設での情報発信など、魅力あふれるまちづくりに取り組みます。

地域コミュニティの中心である商店街が、住民と一体となって開催するお祭りやイベントなど、地域の特性を活かした活動を積極的に支援します。

また、地域住民をはじめとする消費者ニーズの把握に努めます。

さらに、空き店舗の状況を把握するとともに空き店舗対策について取り組みます。

《主な取り組み》

- ・ 地域情報の収集及び積極的発信
- ・ 中心市街地の活性化
- ・ 地域の特性を活かした商店街づくり
- ・ 空き店舗の活用

522 経営基盤の強化を図ります

将来の所沢の商業を担う若手経営者を育成するため、販路開拓・経営改善等を目的として実施する調査・研究等を積極的に奨励し、支援します。

新規開業・創業をめざす起業家を積極的に支援するため、所沢商工会議所と共同で経営相談や講習会の開催を行います。

市内中小企業の経営の安定化と経営基盤の強化を目的に、低利の事業融資をあっ旋し、中小企業の振興に取り組みます。

市内中小企業の振興を図るため、所沢商工会議所と連携し経営相談や経営セミナーなどを開催します。

《主な取り組み》

- ・ 人材の育成
- ・ 新規開業支援の推進
- ・ 融資制度の充実
- ・ 経営指導の充実

523 環境の整備に努めます

魅力あふれる商店街を形成するため、商店街が共同で設置する街路灯や防犯カメラなどの整備を積極的に支援します。

大規模小売店舗の出店にあたり、「交通」「騒音」「廃棄物」などその周辺地域の生活環境の保持のため関係機関と事前に協議し、市民が安心・安全に買物ができる商業環境を整備します。

《主な取り組み》

- ・ 商業基盤の整備
- ・ 生活環境の保持

◆◆◆ 計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値					年別目標値				
		H19	H23	H24	H25	H26	H19	H20	H21	H22	H23
市内小売業の年間販売額	億円	2,900	2,960	2,975	2,990	3,000					

説明：商店街の活性化や商業振興施策の成果を測る指標です。

現状値は、平成 19 年の市内小売業の年間販売額（商業統計調査）です。目標値は、平成 26 年までに 3,000 億円をめざすものです。

第5章-産業・経済

第3節

工業

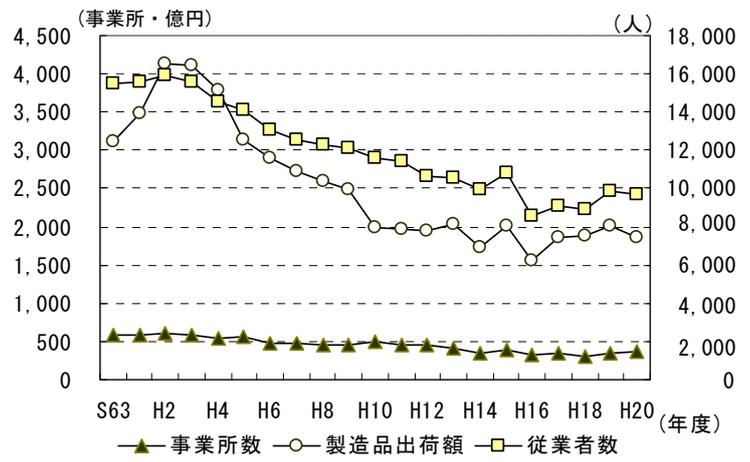
～所沢市の活力を牽引・創造する工業の振興を進めます～

◆◆◆ 現況

わが国の経済は、近年の経済不況の影響により、依然として先行きの不透明な状況の中、特に地域の中小企業は極めて厳しい経営環境に置かれています。

本市における工業は、中小企業が中心のため、景気の低迷などの経済情勢の影響を受けやすく、事業所数、従業者数、製造品出荷額とも減少してきています。

■所沢市の工業の推移



(出典：工業統計調査)

◆◆◆ これまでの主な取り組み

- 工場経営や生産基盤の強化に向けた取り組みと技術革新や高度情報化に対応する人材育成の支援
- 市融資制度の充実
- 県との共催による特許・商標相談会の開催
- 工業団地における騒音にかかる規制区域の見直し
- 産業技術展示交流会への協賛

■天体望遠鏡シェア国内トップを誇る総合光学機器製造企業



■押絵羽子板 (伝統工芸)



◆◆◆ 課題の整理

- 「起業化」の促進と支援体制の構築に努めること。
- 経営体質強化の支援に努めること。
- 企業の情報化・情報発信の推進に努めること。
- 工業団地の整備に努めること。
- 技術革新や高度情報化に対応する人材育成の支援を図ること。
- 新製品・新技術開発等の支援を図ること。
- 地場産業の育成に努めること。
- 高度化事業の活用を図ること。

◆◆◆ 基本方針

531 生産基盤の整備を図ります

住工混在の解消と中小企業の生産環境の整備を図り、自然環境や生活環境に配慮した工業団地の整備を進めるため、事業所のおかれている状況の把握に努めます。

研究開発力・技術開発力に優れた企業の誘致を進め、既存企業の技術力との融合を図り、都市型工業を促進するとともに、新産業への転換を支援します。

成熟社会を迎えた国内消費の多様化・高度化に対応した新しい地域企業の創造を図るため、支援計画

の作成や融資制度の充実等により、起業化に取り組みます。

高度化事業により中小企業者が連携して経営基盤の強化に取り組むことができるよう環境を整備します。

《主な取り組み》

- ・住工混在地の現状把握
- ・優良企業の誘致
- ・成長が期待される産業の起業化の促進
- ・高度化事業活用に向けた環境整備

532 経営の向上を支援します

インターネットの利用による生産品目の需要拡大や生産技術の向上などITの活用について支援します。

経営診断や講習会などを通じて経営管理の技術向上を図るなど中小企業の経営体質の強化を支援します。

中小企業の経営の安定を図るため、金融機関と連携しながら市独自の融資制度を充実させるとともに、国、県などの融資制度を積極的に活用します。

技術革新や高度情報化など時代に対応した経営者や技術者を育成するため、商工会議所と連携して研修会や講習会を開催し、人材育成を支援します。

多様な需要に対応した新製品・新技術のPRに努めます。

《主な取り組み》

- ・経営活動の情報化
- ・経営診断・指導の充実
- ・融資制度の充実
- ・人材の育成
- ・新製品・新技術開発等のPR

533 地場産業の育成を支援します

他業種、特に商業者との連携や多様な展示方法を検討し、販路や取引の拡大を進めます。

名産品や伝統工芸品等を多様な情報発信手段を利用し、広く周知することにより、新たな需要や販路の拡大を促進します。

《主な取り組み》

- ・ものづくりに関する広範なPR活動

◆◆◆ 計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年別目標値			
製造品出荷額	億円	H20	H23	H24	H25	H26
		1,982	2,030	2,080	2,130	2,180

説明：工業振興施策の成果を測る指標です。

現状値は、市内の事業所等が製造した製品の平成20年の年間出荷額（工業統計調査）です。目標値は、毎年50億円の増加をめざすものです。

第5章-産業・経済

第4節

観光

～地域資源を見直し 情報発信の充実により

「観光地」所沢づくりを進めます ～

◆◆◆ 現況

近年、人口減少・少子高齢化が進む中で、観光は、地域における消費の増加や新たな雇用の創出などの経済効果だけでなく、地域の人々が誇りと愛着を持つことができる活力に満ちた地域社会の実現をもたらすことから、注目されるようになってきました。

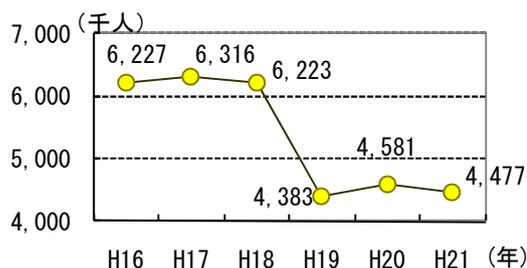
平成19(2007)年には観光立国推進基本法が施行され、国においては国土交通省に観光庁を設置し、観光立国を総合的かつ計画的に推進しています。社会のグローバル化が進む中で、観光立国の実現は、21世紀のわが国経済社会の発展のため、不可欠な課題となっています。

本市における主な観光資源としては、わが国ではじめて飛行場がつくられた「航空発祥の地」を象徴する所沢航空記念公園をはじめ、桜の名所として知られ、季節によって全く違った表情を見せる狭山湖や武蔵野の雑木林に代表される豊かな自然があります。さらには、プロ野球の本拠地球場や遊園地、ゴルフ場等のレジャー施設などがあり、埼玉県内をはじめ、各地から四季を通じて多くの人々が訪れています。

◆◆◆ これまでの主な取り組み

- 所沢市観光協会をはじめ関係団体と連携した観光情報の提供及び市のイメージアップの推進
- 観光案内板や観光客の利便に供する駐車場・トイレなどの整備・運営
- 関係団体との連携による市内外への所沢の魅力のPRと観光客誘致の推進
- 所沢市観光大使を任命し、全国に市の魅力を発信
- 商業や農業等のイベントと連携した取り組み

■観光客数の推移



(資料：入込観光客推計調査)

◆◆◆ 課題の整理

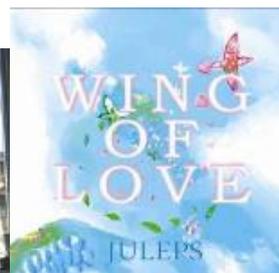
- 市のイメージアップを図ること。
- ホームページ、ガイドブック、ガイドマップ作成などによるPRを強化すること。
- 観光情報を提供する施設の整備・充実に努めること。

- 商工、農業との連携を深めること。
- 滞留型観光*環境の構築に努めること。
- 観光資源の発掘、創造に努めること。

■観光大使の埼玉ブロンコスと「キズナ・ブロンコス」



■観光大使のJULEPS (ジュレップス) と「WING OF LOVE」(所沢航空発祥100周年記念テーマソング)



*滞留型観光…通過型観光に対する用語。地域内に滞留してもらうことで地域全体に経済波及効果が期待できる。

◆◆◆ 基本方針

541 観光活動の充実を図ります

市のホームページの充実、映画やテレビ番組、CMなどの撮影の協力、ガイドブックの作成、観光展の開催、観光案内板の整備などを通じ、市内の観光情報を市内外にアピールします。

ところざわまつりや市民フェスティバル、各種イベントなど、自然、文化、歴史、街並み、食物等を活用したテーマ性を持つイベントを開催する各種団体と連携して、市のイメージアップと地域経済の活性化に取り組みます。

観光活動を活性化するため、所沢市観光協会などの観光活動を行っている各種団体を支援するとともに、観光ガイドなどの市民ボランティアを育成します。

また、人、物、伝統技術、文化、史跡などを活用するとともに、観光農園や本市を本拠地とするプロスポーツチームなど、幅広い視点で観光資源の活用を進めます。

《主な取り組み》

- ・観光情報の宣伝・情報発信の推進
- ・観光イベントへの支援
- ・観光団体の支援・育成

■ところざわまつり



■所沢名物 手打うどん・焼だんご



■B級グルメ大会（所沢名物焼だんご）



542 観光基盤の整備を推進します

市内外からの観光客の要望に応えるため、案内機能を併せ持つ、拠点施設の整備を進めます。また、市内に点在する観光資源をバスや遊歩道などで結ぶとともに、旬の観光スポットを周遊するコースを設定しPRに努めます。

現存する未活用の観光資源を発掘するために、情報収集や調査を進めます。

《主な取り組み》

- ・観光拠点等施設の整備
- ・観光資源の創出・活用

■ところざわ
ウォーキング・ナビ



(西エリア・中央エリア・東エリア)

◆◆◆ 計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年別目標値			
観光客数	千人	H20	H23	H24	H25	H26
		4,581	5,000	5,300	5,600	6,000

説明：観光施策の成果を測る指標です。

現状値は、平成20年に市内を訪れた観光客数（入込観光客推計調査）です。目標値は、平成26年に600万人をめざすものです。

第5節

労働・雇用環境

～ 働きやすい労働環境の確保や 発展的な雇用促進を進めます ～

◆◆◆ 現況

従来からの終身雇用制度や年功序列による昇格・昇給制度の見直しなど、勤労者を取り巻く環境は変化し、非正規労働者や派遣労働者の増加が問題になっています。

また、経済の長期的な低迷により、完全失業率が高く有効求人倍率が低い、大変厳しい雇用失業情勢が続いています。

一方、労働環境については、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス[※])の重視が事業主にも求められてきています。

本市でも、高齢者、障害者、女性及び若年者に対する就労支援が求められるとともに、勤労者福祉の中心的な役割を担う所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンターの会員加入を促進することが大きな課題となっています。

また、雇用失業情勢を注意深く見定めながら、必要に応じて緊急雇用創出事業を実施する必要があります。

■新たな雇用創出のために必要と思う施策 (上位5項目・複数回答)

地元商店街の活性化	49.2%
企業の工場等の誘致 (物流施設を含む)	40.7%
商業施設の誘致	36.1%
農業の振興	29.2%
観光産業の活性化 (施設の誘致を含む)	28.7%

(出典：平成22年度市民意識調査)

◆◆◆ これまでの主な取り組み

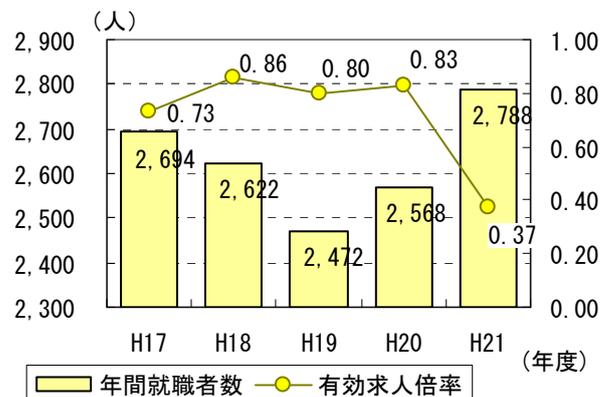
- 勤労者の就労支援の推進
- 勤労者福祉の推進
- 勤労者と事業者の双方が安心して活動できる労働環境づくりの推進
- 労働実態基本調査の実施

◆◆◆ 課題の整理

- 雇用の創出を図ること。
- 求職者への就労支援の強化に努めること。
- 若年者層の就労意識の変化に対応した支援を行うこと。
- 所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンターを支援すること。
- 高齢者、障害者及び女性への就労機会の拡大を図ること。
- 企業へのワーク・ライフ・バランスの意識啓発等を行うことで、子育て支援の充実を図ること。

■年間就職者数・有効求人倍率の推移

※有効求人倍率は所沢公共職業安定所管内(所沢市・狭山市・一部を除く入間市・三芳町)



(資料：所沢公共職業安定所)

※ワーク・ライフ・バランス…仕事と生活の調和のことであり、一人ひとりが仕事や家庭生活、余暇、地域生活などをバランスよく行うことにより、人生の各段階において、豊かで充実した生活を無理なく送ることができること。

◆◆◆ 基本方針

551 雇用対策を推進します

現在の厳しい雇用失業情勢に対応するため、雇用情報提供窓口運営事業をはじめ、埼玉県ふるさと雇用再生及び緊急雇用創出基金事業を活用し、雇用の創出を図ります。

また、雇用のミスマッチ※解消のため、就業援助技能講習を開催し、雇用の促進をめざします。

なお、職業訓練法人や雇用対策協議会等への助成により、団体による雇用対策を支援します。

《主な取り組み》

- ・ 埼玉県雇用基金事業の活用による雇用の創出
- ・ 高年齢者、障害者及び女性への就労機会の拡大
- ・ 就業援助技能講習や雇用情報の提供による就業支援
- ・ 雇用促進や職業訓練活動を行う団体の支援
- ・ 技能尊重の気運を高めるための表彰実施
- ・ 内職のあっ旋

552 勤労者福祉の推進を図ります

勤労者福祉を推進するため、所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンターに対して支援を行うとともに、中小企業退職金共済への加入を促進するための助成を行います。

また、勤労者の借入資金や活動資金については、利用者の負担を軽減します。

なお、勤労者福祉施設の運営や講習・講座の実施により、勤労者の教養を深め、学習の機会を提供します。

《主な取り組み》

- ・ 中小企業勤労者福祉サービスセンターの管理運営を支援
- ・ 中小企業の退職金制度定着のための助成制度
- ・ セーフティネット※としての就職活動資金の貸付支援
- ・ ラーク所沢の運営による勤労者福祉の推進
- ・ 労働基準や安全衛生に対する啓発

553 労働環境の向上をめざします

労働に関する問題、紛争を解決するため、夜間においても労働相談を実施します。

また、若年者の就労問題に対応するため、セミナーや土曜日のカウンセリング※を充実します。

なお、労働関係団体等の育成を図り、健全な労使関係の確立をめざします。

《主な取り組み》

- ・ 夜間労働相談による利便性の増進
- ・ セミナーの開催や心理カウンセリングによる若年者の就労支援
- ・ 労働関係団体の育成支援
- ・ 企業への啓発等による子育て支援の充実

◆◆◆ 計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年度別目標値			
			H23	H24	H25	H26
年間就職者数	人	2,788	3,100	3,300	3,500	3,700

説明：雇用対策の成果を測る指標です。

現状値は、所沢公共職業安定所管内の平成21年度の年間就職者数で、所沢市の人口比（50%）による補正を加えた数値です。目標値は、毎年度200人の増加をめざすものです。

※雇用のミスマッチ…企業が求める能力や技術と、個人が持つ能力や技術との相違。

※セーフティネット…社会的・個人的な危機に対応する方策。雇用保険、生活保護、年金、預金保険、融資に対する信用保証など。安全策。

※カウンセリング…学業や生活、人間関係などで悩みや適応上の問題をもつ人に対して、心理学的な資料や経験に基づいて援助すること。